

## カスタムブリック現場事例



### ドライビットのカスタムブリックが小さな町のオフィスビルを劇的に変貌させました！

小さな変哲のない建物が、90周年を迎えようとしていました。インディアナ州コロンビア市(人口 7,077人)の中心にあるその構造物は、最初 1911 年に築造されてから、数回拡張や改修がなされていました。近年ではうらぶれて来てしまっています。

「建物の壁は構造的に、明らかに選択を間違っていました。異なる観点から俯瞰すると、壁は色々異なる状態にありました。」と、インディアナ州フォートウェインにあるドライビット施工社、ローズマ社のダンデブリス副社長は思い起こしていました。

「レンガは剥がれて風化していました。」と、マーシャル建築スペシャリティ社のボブマーシャルシニア氏は報告しています。ドライビット社のレンガに見える省エネ仕上材、カスタムブリックの出番です。

「古い見た目のレンガ外観で、その地域の他の建物に調和させると言う考えを試みることにしました。レンガ外装は形状がかなり悪化していました。古いレンガの改修には費用がかかり過ぎました。」と、PES アソシエイト社の現場マネージャ、カールデメター氏は言います。

ドライビット中西部地域の現場サービスマネージャで現場スペシャリストのジョンパワーにより、異なる 10 個のカスタムブリック見本が準備され、検討されました。



**物件名：**  
ボーエンセンタービル  
119 ウェストマーケット通り  
インディアナ州コロンビア市

**施主：**  
ボーエンセンター  
インディアナ州コロンビア市

**現場エンジニア：**  
PES アソシエイト社  
インディアナ州ワルシャウ

**ドライビット仕上材：**  
カスタムブリック  
サンドブラスト

**ドライビット施工：**  
ローズマ社  
インディアナ州フォートウェイン

**ドライビット代理店：**  
マーシャル建築スペシャリティ社  
インディアナ州インディアナポリス

ローズマ社の施工者 5 人は接着剤と機械固定のファスナーを併用して、既存のレンガに EPS を取り付けました。

「異なる部位で全体の面を合わせるために、EPS のくさびを使わないといけませんでした。」と、ローズマ社のデブリス氏は言います。

面が出された後に、EPS パネルの上に凡そ 8,000ft<sup>2</sup> のドライビットカスタムブリックが施工されました。ニューヨークウォールブリック模様が採用され、窓や玄関まわりのみならず、建物壁上部を通してドライビットのサンドブラスト仕上材が施工されました。ローズマ社が最初にカスタムブリックを使った物件がポーエンセンターでした。



「コツが分かれば、施工がとても容易でした。カスタムブリックはレンガ改修にはもってこいの代用品です。結果にはとても満足しています。隣と道の向こうにレンガ造りの建物があり、人々はそれがレンガであると断言するでしょう。違いは分かりません。」と、デブリス氏は言います。

ビルの施主もカスタムブリックに感銘を受けたので、建物側付近の建物にもカスタムブリックを使うと決めました。

「当初、施主はカスタムブリックを前面にだけ使うとしていましたが、彼は前面に施工されているところを見て、側面にも施工してくれ、と言いました。間違いなくカスタムブリックは、施主が欲しい見栄えを作り上げたのです。」と、デブリス氏は言います。



ドライビットが提供するカスタムブリックや他のシステム、製品に関する、より多くの情報についてはドライビットお客様サービス 1-800-556-7752 にお電話頂くか、[www.dryvit.com](http://www.dryvit.com) を参照ください。

